

国際イベント 「熱帯林の未来に向けた更なる挑戦」



主催：国際熱帯木材機関(ITTO)
後援：外務省、農林水産省、横浜市

熱帯林は世界の森林の約半分を占めており、十数億の人々が、料理や暖房に必要な薪を採取したり、食糧や木材を得るなど、熱帯林に依存して暮らしています。また、陸地に生息する野生動植物の3/4は森林に棲んでいます、その大半は熱帯林に分布していると言われています。

しかし、日本の森林面積の約半分に相当する1,300万ヘクタールもの熱帯林が、毎年、農地、鉱山、都市などの開発により失われています。このため、本来なら、二酸化炭素を吸収して地球温暖化の防止に役立つはずの熱帯林が、逆に二酸化炭素の発生源となってしまうのです。

ITTOは、日本に本部を置く唯一の条約に基づく国際機関ですが、1986年に横浜に設置されて以来、熱帯林の保全と造成、合法的に生産された熱帯木材の貿易の促進などに取り組んできました。これまでに実施したプロジェクトなどは1,000件以上、総額は4億米ドルに達しています。

今、ITTOは、昨年末に発効した新たな国際協定の下で、最初の理事会をここ横浜で開催し、新たな取組を始めようとしています。こうした機会に、世界各地で熱帯林に深く関わっている国や国際機関の方々と、熱帯林に関心のある市民の皆さんをお招きし、熱帯林の未来を考えるための国際イベントを開催しますので、是非ともご参加ください。

日時：平成24年11月5日(月曜日) 午前9:30～11:00

場所：パシフィコ横浜501・502会議室(5階)

横浜市西区みなとみらい1-1-1(045-223-2155(総合案内))

内容：開会挨拶(ITTO事務局長)

歓迎挨拶(地球環境問題担当大使、横浜副市長)

熱帯林保有国からのメッセージ(カメルーン森林・野生生物大臣、ブラジル上院議員、サラワク州(マレーシア)首席大臣)

関係国際機関からのメッセージ(バードライフ・インターナショナル アジア部門代表、国連食糧農業機関(FAO)林業局長、国連森林フォーラム事務局長)

横浜市民からのメッセージ(横浜サイエンスフロンティア高校生徒)

参加費は無料です。

日本語、英語、フランス語、スペイン語の同時通訳が入ります。

参加申し込み、案内図、お問い合わせ先などについては、裏面をご覧ください。

恐縮ですが、席に限りがありますので、定員に達した場合には参加をお断りすることがありますので、その際は何卒ご容赦下さい。



国際熱帯木材機関
(ITTO)

熱帯林の保全のために

国際熱帯木材機関
〒220-0012横浜市西区
みなとみらい1-1-1
パシフィコ横浜
横浜国際協力センター5階

Tel: (045)-223-1110
Fax: (045)-223-1111
Eメール: itto@itto.int
URL: www.itto.int/jp/

